



4年 川島由己子さん
はねる所がむずかし
かった。



自画像



5年 越川 和晃くん
顔の形が、よくでき
なかった。



6年 越川 敬子さん
字の配置がむずかし
かった。

社会科見学の思い出



3年 小林香津美さん

四月十九日、ちょうしに、わたしたちは、社会科見学に行きました。七時四十五分に、しゅうごうして、八時ごろに、しゅっぱつしました。バスの中では、クイズをやったり歌を歌ったりしました。はじめに、しょうゆ工場に行つて、

えい画を見て、それから工場の中を見学させてもらいました。とてもくさかったです。そしてさいごに、おしゅうをもらつて魚市ばに行きました。朝、そんなに、はやくなかつたけど、魚はけっこういました。わたしは、そんなに魚を見たことがないので、びっくりしました。つぎは、わたしが一番楽しみにしていた、マリンパークです。わたしは、マリンパークでいるかのショーを見たかったけど、いるかのプールのおそうじ中で見られませんでした。とてもざんねんでした。

つぎは、とう台で、おべんとうです。わたしは、とてもおなかがすいていたので、とてもおべんとうがおいしかったです。それがおわつてから、とう台にのぼりました。のぼる時、下りる時ともつかれました。つぎは、ちきゅうが、まるく見えるおかてんぼうかんです。ほんとに、まろく見えました。でもわたしは、ちきゅうが、うちゅうから見たみたいなのだと思います。だから、少しざんねんでしたが全体的にはとても楽しい社会科見学でした。

ひかり歌壇

晩春に米寿の友が続き逝く長寿を称えられ来たる郷

大木静波子(篠本二区)

霧ふかき朝の太陽うつすらと円盤のごと宙に揚げり

伊藤 定男(尾垂五区)

蛙の声遠き夜汽車の音響りに耳そば立てつ五月の夜更け

土屋 義昭(虫 生)

夕映えの朱に紫に移る空あかず眺めおり手術を前に

青柳 フミ(橋 場)

夕迫る山峡しばし眺めゐつ白き半月金に変はり来

伊藤 鏡子(虫 生)

「おはよう」と声かくる息子病む夫にさやけき朝あやめ咲き満つ

椎名 静子(二 又)

息かけて一匙一匙さましつつ母はお粥を兎に与えおり

土屋 好(虫 生)

青み来し芝生に交るかたばみの棘き蔓張る地を縛るがに

竹内 紀葉(篠 原)